



小川中だより "燦々Ⅱ"

自主性
感性
敬愛

No. 34 令和2年1月10日(金)発行

文責：いわき市立小川中学校長 津田 直人

<3学期、元気よくスタート>

1月8日(水)に3学期がスタートし、生徒たちの元気な声が校舎内に響くようになりました。始業式の後、3学期の抱負を学年代表と生徒会代表が発表しました。どの発表も堂々とした姿で、新しい一年に向けて意欲に満ちた発表でした。

今年は4年に1度のスポーツの祭典である東京オリンピックが開催されるため、世界各地から大勢の人々が日本にやってくると思います。福島市でも野球とソフトボールの予選が行われます。どのような光景が見られるのか楽しみです。



代表生徒の発表

1年 小松 葉月さん

2年 七海 拓夢君

3年 今野 瑠那さん

生徒会 小松飛々己君

<始業式校長式辞>

新年、明けましておめでとうございます。令和初のお正月、どんなお正月でしたか。いつもと同じで変わったことはなかったという人もいるでしょう。3年生にとっては、いつものお正月とは違ったかも知れません。

新しい年が始まり、清新な気持ちになった人は多いと思います。何事にも節目があり、その節目を生かすことで、人生の転機にすることができます。お正月は、まさに絶好の節目です。“今年はこの頑張りたい”、“今年はこのここまでできるようにしたい”など、具体的に目標を決めることから始まります。私は2つの目標を立てました。1つ目は、1日30分の読書。2つ目は、1日30分の運動です。実は去年の目標とほぼ同じです。できた日もあれば、できなかった日もありました。今年、去年以上にできる日を増やしたいと思います。皆さんも、まずは、今日から始まる3学期の目標を具体的に決めましょう。“1日1時間以上、家で勉強する”、“起床時間を10分早くする”、“1日1つ、家の手伝いをする”など、ちょっと努力すればできる目標にすることが、続けるためのポイントです。

話は変わりますが、今年、東京オリンピックが開催される歴史的な年です。去年はラグビーのワールドカップがありました。このような時に巡り会えることは、なかなかありません。どんな光景が見られるのか、今から楽しみです。皆さんにとってもこの1年は、大事な1年になります。3年生は義務教育を終え、それぞれが新たな道に進みます。2年生は最上級生として、学校生活の様々な活動を中心となって進めていきます。1年生はクラス替えをし、新たなクラスメイトとの生活が始まります。また、先輩となり、新入生に色々と教えていくことになります。

4月から、皆さんが新しい舞台で活躍するためにも、今、自分が頑張りたいと思っていることに、全力で取り組んでほしいと思います。1・2月は寒さも厳しく、インフルエンザなどの流行も心配されます。うがいや手洗いなどの予防対策をしっかりと行いましょう。また、食事や睡眠など、生活習慣を整えて、健康的な毎日を送りましょう。寒さを吹き飛ばし、充実した3学期していきましょう。

<3年生、学力テストを実施>

冬休み中の1月6日(月)に、3年生で学力テストを行いました。県立高校前期選抜試験まで、あと約2ヶ月となりました。2月にも学力テストの実施を予定していますが、今回は前期選抜試験前の最後のテストとなります。

今週から来週にかけて、私立高校の結果も出そろいます。私立高校の結果と今回のテスト結果を受けて、前期選抜の受験校を最終的に決めていくこととなります。テスト結果は約2週間後に出る予定ですが、3年生では必要に応じて三者懇談の実施を準備しています。受験も大きな山場を迎えます。

<1・2年生、学力テストを実施>

1月9日(木)に、1・2年生で学力テストを行いました。1年生については中学校に入学してから2学期までに学習した内容、2年生については中学1年生で学習した内容に加え、2年生の2学期までに学習した内容がテスト範囲となっています。中間・期末テストとは異なり、範囲が広いテストです。そのため、現在の実力を把握することができるテストです。

3年生はすでに何回もこのようなテストを実施しているので、テストには慣れていていると思います。それに比べ1・2年生は、年に2回(夏休み明けにも実施)の実施ですので、テスト対策としてどのような勉強をしてテストに臨めばよいか、よく分からないままテストを受けた生徒が多いかも知れま

せん。はっきりと言えることは、今まで学習した全てがテスト範囲となりますので、それらをすべて復習してテストに臨むことは不可能です。大事なことは2点あります。

- ①各教科で、自分が苦手としている学習内容は何かを明確にして、その内容を復習する。
- ②授業後の復習や単元終了後の復習、中間・期末テストの復習などを地道に行う。

「学問に王道なし」で、学習内容を確実に身に付けるためには日々の積み重ねが必要です。やればやった分、実になります。1・2年生には1年後、2年後の目標を見据えて、日々の学習に取り組んでほしいと思います



<甲状腺検査を実施>

1月10日（金）の9：30から、甲状腺検査を実施しました。この検査は、東京電力福島第一原子力発電所事故後に福島県が行っているもので、今回で3巡目となります。対象者は、震災時に福島県に住んでいた概ね18歳以下（平成4年4月2日～平成23年4月1日生まれ）に該当する人たちです。そのため、小川中学校のほとんどの生徒が対象となっており、今回、学校に専門医が来校し検査を行いました。

この甲状腺検査は今後も引き続き行われる予定となっています（20歳を超えるまでは2年ごと、それ以降は25歳、30歳等の5年ごとに検査を実施）。詳しくは福島県のホームページをご覧ください。

<「県立高等学校の入学検定料免除手続き」について>

すでに、3年生の進路だよりでお知らせいたしましたが、県立高校の入学検定料免除について、改めて掲載します。これは昨年の台風被害によるもので、志願者の学費を主として負担している方（保護者）を対象としています。詳しい手続き等については、次の内容をご覧ください。

○免除の条件

入学検定料の納入前1年以内に、法律で激甚災害の指定を受けた災害により、所有する家屋や家財に著しい被害を受け、市町村から罹災証明書を受けた方。（福島県内においては、令和元年10月11日から26日までの間の暴風雨及び豪雨による災害が該当）

○入学検定料免除の申請手続き

(1) 提出書類

- ①入学検定料免除申請書 ※入学願書と同時に志願高校へ提出します。罹災証明書が手続き中で準備できない場合は、早めに中学校へご相談ください。
- ②罹災証明書の写し

(2) 罹災証明書の注意

- ①世帯主が祖父母等、保護者以外が所有する家屋等に対する罹災証明書は原則として免除の対象となりませんが、保護者が被災者として併記されている場合は免除の対象となるため、このような場合は、市の罹災証明書発行担当へ説明及び交付依頼をしてください。
- ②市の罹災証明書発行担当へ説明・依頼を行っても、罹災証明書が保護者の名前で交付されない場合は、罹災証明書に記載された方と保護者の関係を確認するため、当該2名分の住民票を提出します。提出された住民票で罹災証明書に記載された方と保護者が同一住所であることが確認できれば、保護者も罹災したとみなし、入学検定料免除の対象となります。

(3) 申請上の注意

免除申請は入学願書の提出ごとに行います。例えば、次の例が該当となります。

- ア 特色選抜と一般選抜を併願する場合
- イ 一般選抜と連携型選抜を併願する場合
- ウ 前期選抜・連携型選抜の不合格者が後期選抜を受験する場合
- エ 志願先を変更する場合

○免除決定

入学検定料免除申請は受理した高等学校で内容を精査し、在学（出身）中学校長を経由して（中学校長を通さない申請の場合は申請者本人へ）免除の可否が次のとおり通知されます。

- ア 前期選抜又は連携型選抜は、学力検査実施日（令和2年3月4日）の前日まで
- イ 後期選抜は期間が短いため、申請書受理後速やかに決定し結果を通知
- ウ 入学検定料を免除しなかった場合は、各高等学校長が定める期日までに入学検定料を納付する。

【来週の予定】

月 日	曜日	給食	お も な 行 事
1月13日	月	△	成人の日
1月14日	火	○	SC・司書来校
1月15日	水	○	ノー部活デー
1月16日	木	○	3年生三者懇談（希望者） 秀英高校入試
1月17日	金	○	3年生三者懇談（希望者） 金1234総合5の順
1月18日	土	△	福島高専入試（推薦） いわき志塾